

食品安全委員会の２月の運営について

１．食品安全委員会の開催

第365回 ２月３日（木）

(1) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

添加物専門調査会 (2品目)	<i>trans</i> -2-メチル-2-ブテナール、ピロール
農薬専門調査会 (1品目)	ピリベンカルブ
動物用医薬品専門 調査会(1品目)	プリフィニウム
新開発食品専門調 査会(1品目)	トリグリティー及びミドルケア粉末スティック

(2) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

添加物(1品目)	イソキノリン
遺伝子組換え 食品等(1品目)	GLU-No. 3株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム

(3) 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成22年12月分）について事務局から報告

(4) 食品安全委員会の１月の運営について事務局から報告

第366回 ２月10日（木）

(1) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬(5品目)	トリアゾホス、トルフェンピラド、ベンチアバリカルブイソプロピル、マンジプロパミド、ヨウ化メチル
遺伝子組換え 食品等(1品目)	チョウ目害虫抵抗性ダイズMON87701系統(食品)

(2) 食品安全関係情報（１月15日～１月28日収集分）について事務局から報告

第367回 2月17日（木）

(1) 米国産牛肉の混載事例について厚生労働省及び農林水産省から報告

(2) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

添加物(1品目)	(3-アミノ-3-カルボキシプロピル)ジメチルスルホニウム塩化物
農薬(10品目)	クロルフェナピル、テブコナゾール、メキシフェノジド、1-ナフタレン酢酸、カルボスルファン、ベンフラカルブ、エンドスルファン、クロリムロンエチル、クロルタールジメチル、デスメディファム
農薬及び動物用医薬品(1品目)	フィプロニル

(3) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 (1品目)	フルオピコリド
企画専門調査会 (2件)	食品安全委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件の候補について、平成23年度食品安全委員会運営計画(案)

(4) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

遺伝子組換え食品等(1品目)	LEU-No. 2株を利用して生産されたL-ロイシン
----------------	----------------------------

第368回 2月24日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

遺伝子組換え食品等(3品目)	除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタGHB119系統(食品・飼料)、除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタT304-40系統(食品・飼料)、pCol株を利用して生産されたプロテアーゼ
----------------	--

(2) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

遺伝子組換え食品等(1品目)	チョウ目害虫抵抗性ダイズMON87701系統(飼料)
----------------	----------------------------

(3) 食品安全モニターからの報告（平成22年12月分）について事務局から報告

(4) 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成23年1月分）について事務局から報告

(5) 食品安全関係情報（1月29日～2月10日収集分）について事務局から報告

2. 高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するワーキンググループ

第4回 2月28日（月）

- ・「高濃度にジアシルグリセロールを含む食品の安全性：当該食品に含まれるグリシドール及びその脂肪酸エステル類」に関する評価書（案）について審議を行った

3. 専門調査会の運営

（1）企画専門調査会

第37回 2月8日（火）

＜食品安全委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件の検討・選定について＞

- ・7件の物質（危害要因）について審議を行い、その結果、本年度の「自ら評価」案件候補として、「加熱時に生じるアクリルアミド」を食品安全委員会に報告することとなった
- ・また、その他の案件については、ファクトシートを作成することによる情報提供を行うこととなった

＜平成23年度食品安全委員会運営計画について＞

- ・審議の結果、一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった

（2）添加物専門調査会

第93回 2月22日（火）

- ・「（3-アミノ-3-カルボキシプロピル）ジメチルスルホニウム塩化物」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・アスパルテームに関する新たな論文2報についてのE F S Aパネルでの審議結果と今後の見通し等について、事務局から報告があり、今後、更に新たな情報があれば報告することとされた

（3）農薬専門調査会

第70回 幹事会 2月1日（火）

- ・「ピリメタニル」、「ベンチアバリカルブイソプロピル」、「マンジプロパミド」及び「ヨウ化メチル」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・「クレソキシムメチル」について検討の結果、評価第二部会において調査審議することとなった
- ・「チフルザミド」について検討の結果、評価第一部会において調査審議することとなった
- ・「アバメクチン」について調査審議し、評価書（案）を一部修正した上で、続いて動物用医薬品専門調査会で審議することとなった
- ・農薬専門調査会幹事会第66回会合で審議されたトリアゾホスの食品健康影響評価について審議が行われ、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった

第5回 評価第四部会 2月4日（金）※非公開

- ・「エトフメセート」について調査審議し、継続審議となった

第6回 評価第二部会 2月15日（火）※非公開

- ・「クレソキシムメチル」について調査審議し、継続審議となった

(4) 動物用医薬品専門調査会

第130回 2月21日(月)

- ・「フルニキシン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・「酢酸メレンゲステロール」について調査審議し、継続審議となった

(5) 化学物質・汚染物質専門調査会

第11回 清涼飲料水部会 2月21日(月)

- ・「ホウ素」、「セレン」及び「フッ素」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、幹事会に報告することを決定
- ・「マンガン」について調査審議し、継続審議となった

(6) 微生物・ウイルス専門調査会

第18回 2月2日(水)

- ＜リスクプロファイル(鶏肉におけるサルモネラ属菌、非加熱喫食調理済み食品(R e a d y - t o - e a t 食品)におけるリステリア・モノサイトゲネス)の更新について＞
- ・鶏肉におけるサルモネラ属菌のリスクプロファイル更新案については、食品安全委員会に報告することが了承された
 - ・非加熱喫食調理済み食品(R e a d y - t o - e a t 食品)におけるリステリア・モノサイトゲネスのリスクプロファイル更新案については、担当専門委員において修正案を作成した上で再度審議を行うこととなった

第19回 2月8日(火) 薬剤耐性菌に関するワーキンググループ

※第44回肥料・飼料等専門調査会と合同で開催

- ・鶏に使用するフルオロキノロン系抗菌性物質製剤に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について、事務局から鶏に使用するフルオロキノロン系抗菌性物質製剤に係る薬剤耐性菌に関する知見について説明後、食品健康影響評価の方向性について審議され、専門委員からの意見を踏まえて、今後、評価書(案)を作成していくこととなった
- ・事務局より「CODE X抗菌剤に関する特別部会(T F A M R)」における、リスク分析ガイドラインの検討状況について報告された

第20回 2月28日(月)

- ＜リスクプロファイル(豚肉におけるE型肝炎ウイルス、生鮮魚介類における腸炎ビブリオ)の更新について＞
- ・豚肉におけるE型肝炎ウイルスのリスクプロファイル更新案について、一部修正の上、食品安全委員会に報告することが了承された
 - ・生鮮魚介類における腸炎ビブリオのリスクプロファイル更新案について、担当専門委員において修正案を作成した上で再度審議を行うこととなった

(7) 肥料・飼料等専門調査会

第44回 2月8日(火) 薬剤耐性菌に関するワーキンググループ

※第19回微生物・ウイルス専門調査会と合同で開催

- ・鶏に使用するフルオロキノロン系抗菌性物質製剤に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について、事務局から鶏に使用するフルオロキノロン系抗菌性物質製剤に係る薬剤耐性菌に関する知見について説明後、食品健康影響評価の方向性について審議され、専門委員からの意見を踏まえて、今後、評価書(案)を作成していくこととなった
- ・事務局より「CODE X抗菌剤に関する特別部会(T F A M R)」における、リスク分析ガイドラインの検討状況について報告された

4. 意見交換会等の開催

ジュニア食品安全ゼミナール（高知県）

2月2日（水）＜高知県香南市＞

- ・高知県との共催により開催
- ・香南市立夜須中学校2年生を対象として、5人1チームに分かれて食品安全委員会が作成した副読本「科学の目で見える食品安全」を基にしたクイズを行った後、参加生徒と食品安全委員会の野村一正委員との意見交換を実施

食品のリスクを考えるサイエンスカフェ（富山県）

2月3日（木）＜富山県富山市＞

- ・富山県との共催により開催
- ・食品安全委員会事務局からサイエンスカフェの概要と食中毒原因微生物のリスク評価の取組について、富山県厚生部生活衛生課の吉田毅氏から家庭でできる食中毒予防法について話題提供を行った後、参加者の皆さんから疑問や意見を自由にカードに書いて出してもらい、その内容について意見交換を実施

食品のリスクを考えるサイエンスカフェ（山口県）

2月10日（木）＜山口県山口市＞

- ・山口県との共催により開催
- ・食品安全委員会事務局からサイエンスカフェの概要と食中毒原因微生物のリスク評価の取組について、広島大学大学院生物圏科学研究科の中野宏幸教授から食中毒細菌の特性と家庭における食中毒予防について話題提供を行った後、参加者の皆さんから疑問や意見を自由にカードに書いて出してもらい、その内容について意見交換を実施